

## サステナビリティレポート 2008の発行にあたって



副社長執行役員（環境・CSR担当）

上野 征夫

かけがえのない地球、豊かな社会を次世代へと引き継いでいくため、三菱商事は環境・CSR活動に継続的に取り組んできました。具体的には、母と子の自然教室などの社会貢献活動、世界各地での国際貢献施策、社員による日々のボランティア活動などを息長く続ける一方で、新規・既存の投融資案件の審査についての環境・CSR面での評価・分析、EMS（ISO14001）活動の推進などを行っています。

最近の気候変動・生物多様性に関する世間の関心の高まりを見るにつけても、事業活動を通じたCSRの実践の必要性をますます強く感じております。2008年度は従来の取り組みのさらなる強化を図るため、社内体制の見直しを行うと共に新規施策への取り組みを進めているところです。

このサステナビリティレポート2008では、三菱商事の活動のうち主要なものをご報告致します。中でも特集では、高い注目が集まっている「地球温暖化問題」、「水資源」、「生物多様性」、「食資源」の4つの切り口から代表的な事業をご紹介します。

このレポートをお読み頂き、三菱商事の環境・CSR活動に関してご理解頂く一助となれば幸いです。